

# し え ん ぶ 支援部だより

第2・3号

令和6年10月11日  
東京都立水元特別支援学校長  
村上 卓郎  
担当：支援部

夏のなごりもだんだんと薄れ、朝晩は過ごしやすくなりました。  
プール学習も終わり、子供たちは校外学習や水元まつりの学習に取り組んでいます。  
今号では、夏季休業中に行われた研修会の内容と、副籍交流について御紹介いたします。

## か き けんしゅうかい ようす 【夏季研修会の様子】

今年度は、2名の講師の先生をお招きしてご講演をいただきました。



講師：NPO法人東京都自閉症協会役員 公認心理師  
綿貫 愛子 先生  
ご自身の経験から、自閉症児の見え方・感じ方や望ましい教育と支援についてお話いただきました。子供の優位な方法を見つけて支援すること、そして「自己決定」の機会を増やすことで幸福度を高め、自分らしく生きる近道になることを教えていただきました。

講師：東京都立中野特別支援学校主幹教諭  
CSVセンターの機能スーパーバイザー 堀切 美和 先生  
都立高等学校及び中間一貫校で行われる「通級による指導」の具体的な指導内容についてお話いただきました。社会自立を目指していくために必要な「自分の状態を伝えること」「援助要請」「自己選択・自己決定」の機会を作り、様々な教材を通して学んでいることが分かりました。



## とうじつ 当日はたくさんの教材を御紹介いただきました！



コミュニケーションをとるための支援グッズ  
「すきなのどっち」「トーキングゲーム」  
「はじめまシンキング」「こころかるた」「ガムトーク」等

会話をするためのお題が決められている支援グッズは、2択から選択するものや、テーマを決めて話すものなど、様々な種類があります。お題を見て会話をスムーズにする想ひと、これまで経験した内容を他者に伝える力を養えます。

## ふくせきこうりゅう しょうかい 【副籍交流の紹介】

今年度は72名の児童・生徒が、直接的な交流を行っています。1学期に1回目の交流をスタートさせた児童・生徒の様子を、保護者の方の記録よりご紹介いたします。



### < 小学部2年生 直接交流 >

玄関まで迎えに来てくれたお友達にも手を引いてもらい、昨年より上階の3階までスムーズに上がりました。教室は前から入るのはためらいましたが、後ろから入り、スムーズに座りました。『七夕』と『にじ』の歌では、本人も歌詞の語尾を拾って歌っており、笑顔も見られました。みんなが本人のほうを見て「よろしくね」と言ってくれた時には、おでこに手を当てておどけるポーズを見せており、本人なりに返答したのかなと思います。前回より、慣れた感じがありがたかったです。



### < 小学部5年生 直接交流 >

帰りの会にお時間をいただき、クラスの皆さんに挨拶に伺いました。一緒にダンスをしたり、前に出て挨拶したり、本人もとても楽しんで過ごしました。皆さんがとても温かく迎え入れてくれたことで、帰りも「お友達がいっぱいだ！」と喜んでいました。是非、今後も交流の機会をいただけたらと思います。

## < 大切なお願い >

直接交流を予定している当日に、体調等の理由で、急遽参加ができなくなった場合は、分かり次第、至急、本校まで御連絡をください。本校から地域指定校に至急その旨を伝えます。地域指定校の皆さんは、直接交流の準備をして、楽しみに待っています。やむを得ない理由で欠席になることもあるかと思いますが、迅速に地域指定校と連絡をさせていただくため、御協力をよろしくお願いいたします。

また直接交流の日時は連絡帳で担任より確実にお知らせをさせていただきますので、御確認をよろしくお願いいたします。

